

# 個別施設計画様式(参考)

策定年月日

2020/11/30

1 対象施設・施設概要					
施設情報					
施設名称	宮城県立がんセンター		所管所属名称	地方独立行政法人宮城県立病院機構 (医療政策課)	
公共施設等総合管理方針施設分類					
大分類	公共用施設	中分類	地方独立行政法人施設	小分類	病院
主要建物概要					
構造	鉄筋鉄骨コンクリート	用途	病院	建築日	平成5年3月31日
経過年数	27年(本館)	耐用年数	39年	目標使用年数	50年
運営方式	直営	管理者名称	地方独立行政法人宮城県立病院機構	全延床面積(㎡)	34,160
所在地	宮城県名取市愛島塩手字野田山47-1				
2 計画期間					
計画期間は令和3年度から令和4年度までの2年間(第3期中期計画期間(令和元年度～令和4年度)の終期まで)とする。その後、第4期中期計画(令和5年度～令和8年度)策定に併せて、令和4年度中に当計画を更新する。					
3 点検・診断によって得られた個別施設の状態					
別添「定期調査報告書」等のとおり					
4 当該施設の必要性					
設置根拠規定等	地方独立行政法人法第7条		必要性の有無	有	
業務内容	公立病院の運営				
必要性の判断理由	宮城県立がんセンターは、がんの種類や患者の状態に応じて、手術療法、放射線療法、化学療法、さらにそれらを効果的に組み合わせた集学的治療や緩和ケアなど、最適な治療を提供しており、施設の必要性は高い。				
5 施設ごとの今後の対策					
管理に関する基本的な考え方を踏まえた施設の管理方針	宮城県立がんセンターは、病院建設後27年が経過し、開設当初から更新をしていない設備機器も多数あることから、今後計画的な更新工事、修繕工事を行っていく必要がある。 一方で、県の実施した県立がんセンターのあり方検討会議の検討結果を踏まえ、現在他病院との連携・統合なども視野に入れながら、将来的に「がんを総合的に診療できる機能を有する病院」の実現に向けた検討も行っていることから、そちらの検討結果・実現時期なども踏まえたうえで、必要な修繕などを実施していく必要があるもの。 なお、目標使用年数は、宮城県公共施設等総合管理方針における推計条件を準用し、法定耐用年数の30%増とする。				
施設間・対策間の優先順位の判断内容	がんセンター本館部分等については、建設後27年が経過し、器械・電気設備などについては耐用年数の15年を大幅に超過して使用しているものも多く、経年劣化が進行している。 第3期中期計画期間(令和元年度～令和4年度)においては、大規模修繕事業の実施のため、4年間で総額747,400千円の修繕予算措置を頂いた。これまでの工事では、空調機器などをメインに修繕工事を実施し、患者療養環境の維持に努めたが、令和3年度以降は、無停電電源装置などの更新を中心に行い、災害等発生などに備えるものである。				
6 対策内容、時期及び概算費用					
別添「宮城県立がんセンター短期保全計画(第3期中期計画)」のとおり					
7 財源内訳					
借入金(転貸債等)					

## 宮城県立がんセンター 短期保全計画(第3期中期計画)

(単位：千円)

番号	区分	場所	内容	R 3 年度	R 4 年度	合計	建築・ 購入年度	耐用年数
1	電気	本館	C V C F 電源装置更新改修	149,622		149,622	H5	15年
2	電気	本館	V C B 更新工事	27,610		27,610	H5	15年
3	その他	本館	その他工事 (中期計画予算内で、必要とされる工事を実施)		2,000	2,000		
4						0		
5						0		
6						0		
7						0		
8						0		
9						0		
合計				177,232	2,000	179,232		